

## 「当院の閉鎖病棟に入院している結核病棟患者のストレスの実際について」の アンケート調査ご協力をお願い

結核と診断された患者さんは、感染拡大を防止するため隔離された病棟に入院する必要があります。当院の結核病棟は施設された閉鎖病棟になっているため、結核患者さんは限られた環境での生活を余儀なくされています。そのため、閉鎖病棟に入院している結核患者さんは入院生活に日々ストレスを感じているのではないかと思います。患者さんのストレスを明らかにするための研究を実施しようと考えております。何卒ご理解の上、ご協力お願い申し上げます。

### 1. 研究目的

閉鎖病棟に入院している結核患者さんがどのようなストレスを感じているのか明らかにすること。

### 2. 調査方法

今回の研究ではアンケート調査を行い、配布とともに書面にて説明を行います。アンケートのご回答にかかる時間は20分程度です。このアンケート内容としては、53個の質問に対して「当てはまる」「少し当てはまる」「あまり当てはまらない」「当てはまらない」から選択していただくものと、自由記載で答えていただくものがあります。回収は無記名で行い、専用の回収ボックスをデイルームの棚へ設置します。参加期間はアンケート回収期間とし、アンケート回収をもって同意を頂いたこととさせていただきますのでご協力お願い申し上げます。

### 3. 研究における倫理的配慮

- 1) 北海道医療センターの倫理委員会に申請し、承認を得た上で本研究を実施します。
- 2) 患者さんに対して、本研究の目的と方法を説明し、自由意思によって本研究への協力することに了解が得られた場合にのみ協力していただきます。協力が得られない場合も、不利益を被ることはありません。
- 3) 患者さんが本研究への協力を了承が得られた後に断られた場合でも、不利益を被ることはありません。
- 4) 患者さん個人を特定されないように配慮いたします。
- 5) 本研究で得たデータは、本研究者ら以外が目にすることはなく、本研究以外の目的で使用することはありません。データはUSBに集計保存し、USB及びアンケートは施設できる引き出しに保管します。研究終了後、紙媒体はシュレッター処理し、USBは引き続き施設できる引き出しで保管いたします。

何か聞きたい事や解らない事、心配な事がありましたら、以下の研究担当者までお尋ねください。

【研究責任者】	北海道医療センター	5-2 病棟	看護師	齋藤 雅子
【研究担当者】	北海道医療センター	5-2 病棟	看護師	星山 恵実
	北海道医療センター	5-2 病棟	看護副師長	菅原 明栄
	北海道医療センター	5-2 病棟	看護師長	佐藤 朱美